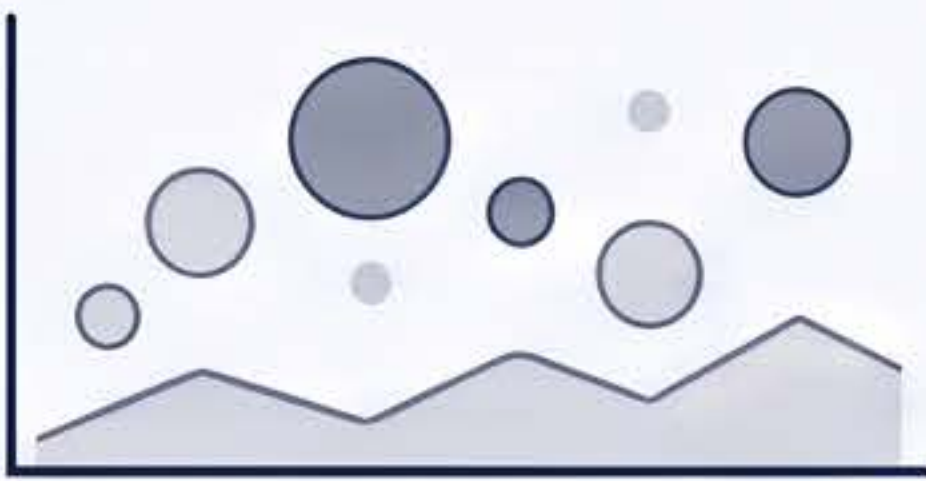


経営を誤らせない「IPランドスケープ」の選び方：占い化を防ぐ品質基準

「占い」と「信頼」を分ける境界線



「業界の俯瞰」で終わるか



単なる現状把握。断定的な可視化。

意思決定を導くか



判断事項や期限が明示され、具体的な選択を支援。
事実・指標・解釈・仮説の推論プロセスを透明化。

失敗を防ぐ「事実」と「死角」



特許データは「イノベーションの15%」に過ぎない



特許外の証拠（論文・市場・投資等）との照合が不可欠。



公報公報でも「18か月の観測遅延」がある
公報のみの分析では直近1.5年の競争状況に死角が生じる。



失敗を防ぐ「ガバナンス・ゲート」条件

フェーズ		必須チェック項目		危険な兆候（Red Flag）	
仮説設定		● 反証仮説（否定材料）の設定		● 結論が調査開始前に決まっている	
データ		● DB名、取得日、欠損率の記録		● 「AIで抽出」のみで詳細不明	
精査		● 無作為標本による人手での精度検証		● 検索結果の件数確認のみ	

結論を否定する「反証」を意図的に探すことが分析の品質を担保します。名寄せとファミリー処理の定義を明記し、戦略を誤らせるリスクを回避しましょう。